

## 投稿規定

(2020年4月改訂)

1. 日本新生児成育医学会雑誌への投稿は、依頼原稿を除き、筆頭著者及び **Corresponding Author** は本学会会員に限ります。医学生・臨床研修医（初期研修医）・専攻医の場合は非会員投稿申請書を提出すれば非会員でも筆頭著者になることが可能ですが、本学会会員を **Corresponding Author** としてください。
2. 投稿は、日本新生児成育医学会・学会誌編集委員会の E-mail 宛に、表紙（論文表題、著者の姓名、所属、職名、e-mail アドレス、原稿枚数、図表の枚数）・本文（要旨、本文、文献、図表のタイトルと説明）、英文抄録（論文表題、著者の姓名、所属、英文抄録）の **Word** ファイル、図表ファイル、誓約書、**COI**、投稿論文チェックリストなどの全てのファイルを添付してご送付ください。ただし、添付ファイルの合計容量は **7MB** 以内とし、誓約書は **PDF** ファイルでお送りください。ファイルサイズが大きくて送信できない場合や、事務局から投稿受付メールが届かない場合は、必ず事務局にお問い合わせください。 ※投稿論文の書き方の詳細は 7. をご参照ください。
3. 論文（原著、症例報告、綜説など）は新生児の医学、医療、成育ならびにこれに関するもので、他の雑誌などに未発表のものに限ります。英文論文も受け付けます。ただし投稿前に英語を母国語とする医師、もしくは英語が堪能な医師の校閲を受けてください。
4. 臨床研究の論文では「ヘルシンキ宣言」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」などの研究倫理を遵守してください。
  - (1)臨床研究の論文（後方視的研究を含む）では倫理委員会または当該委員会の承認を得た研究であること、および介入がある研究では患者（保護者）から同意を得たことを本文中の「対象と方法」の部分に明記してください。  
所属施設が同意についてオプトアウトなどの方法で対応している場合にはその旨を本文中に記載し、施設の規定を原稿に添付してください。
  - (2)症例報告では、倫理委員会の審査は不要であるが当該医療機関の倫理審査委員会等の規定に準じ審査を受けたものに対してはその旨を本文中の「緒言」に記載してください。また、審査を受けていない場合は、以下のいずれかにより論文投稿に対する患者（保護者）の同意を得て、その旨を本文中の「緒言」に記載してください。
    - 1) 患者（保護者）から文書による同意を得る。
    - 2) 患者（保護者）から口頭による同意を得て、その旨を診療録に記載する。
  - (3)症例報告であっても研究的侵襲、試料採取、検査などが行われる場合には倫理委員会の承認を得て、その旨を本文中の「緒言」に記載してください。
  - (4)いずれの論文においても個人が特定されることがないように個人情報の保護に配慮してください。特に顔写真や家系図を使用する場合は個人が識別できないようにして、論文に使用することに対する患者（保護者）の同意を得たうえで図の説明文にその旨を記載してください。
5. 論文の採否は2人ないし3人の査読を経たのち、編集委員会で決定します。査読または編集委員会により原稿の訂正を求められた場合は、査読結果通知日から3か月以内に再

投稿してください。学会誌編集委員会に連絡なく期限を過ぎた場合は新規投稿となります。

6. 誓約書はホームページからダウンロードした所定の用紙に著者全員が署名押印し、スキャンしたPDFファイルを投稿時にe-mailに添付してください。掲載された論文の著作権は本学会に帰属します。

＊誓約書には必ず筆頭著者の連絡先、生年月日、医学部卒業年次および全員の自署と押印のうえ提出してください（原稿の表紙や本文には記載しないでください）。

7. 投稿論文の書き方は以下の如くです。

- (1)原稿は原則として8ページ（図表、文献を含む）以内とします（1ページの文字数は図表を含まない場合、和文：約2,000字／英文：約600words）※掲載料に関しては8.をご参照ください。

- (2)和文原稿は、左横書きとし、当用漢字、現代かなづかい（かなはひらがな）を用い、A4判40字×30行（文字の大きさは10.5ポイント）としてください。英文原稿はA4白紙に十分なマージンをもって12ポイント、30行としてください。原稿にはページ番号・行番号を記載してください。

- (3)本文の1ページ目に、論文表題、著者の姓名、所属、職名、e-mailアドレスを明記し、原稿枚数、図表の枚数を記載してください（筆頭著者が非会員の場合は会員の連絡担当者も記載してください）。e-mailにて査読結果を返送しますので必ず連絡が取れるアドレスを明記してください。

- (4)論文の構成としては、下記例のようにまとめてください。

研究論文：要旨－緒言－対象・方法－成績（結果）－考察－結論

症例報告：要旨－緒言－症例－所見・経過－考察－結び

- (5)要旨（和文：400字以内、英文：300words以内）は、それだけで論文の内容がわかるように、2ページ目にまとめてください。なお、英文原稿の場合は和文要旨も付けてください。

- (6)Key word（英語で5words以内）を要旨の後に付けてください。

- (7)和文原稿の本文には、英文抄録（300words以内）を最終ページに必ず添えてください。英文は英語を母国語とする医師、もしくは英語が堪能な医師の校閲を受けてください。

- (8)和文原稿では、日本語で表現できる用語はできるだけ日本語で書き、外国語の使用を極力避けてください。ただし、文献、人名、地名、酵素名、化学物質名、薬品名は原則として原語を用いてください。

用語は日本医学会医学用語辞典と日本小児科学会用語集に準じて使用してください。略語を使用する場合は原則として初出時に「日本語（英語のフルスペル：省略形）」の形式で記載してください。

なお、あまり意味のない略語の使用は避けてください。

- (9)図表は必要なものを厳選し、そのまま印刷できるものをお送りください（tiff, jpg, pdfなど。なおパワーポイントデータは、作成されたものと違うバージョンで開いた場合、文字がずれたり線が消えたりすることがありますのでpdfに変換してお送りください

い)。図表には番号をつけ、図や表の参照位置を本文に明記してください。

(10) 度量衡はkm, cm, mm,  $\mu$ , L, mL, kg, mg,  $\mu$ g, mEq/L, mg/dLなどの単位を、数字は1, 2, 3などの算用数字を用いてください。

(11) 文献は引用順で末尾に一括して、次の形式で記載してください。著者は3名までは全員を、3名以上の場合は3名までを書き、他やet alをつけてください。また、単行本の場合は編者の名を記入してください。

雑誌の場合 著者名. 論文題名. 雑誌略名 年; 巻: ページ初-終.

外国誌はIndex Medicus, 邦文誌は医学中央雑誌収載誌略名をお使いください(略名医学中央雑誌のホームページから検索できます)。

著書の場合 著者名. 表題. 編者, 書名. 版数, 発行社, 発行地, 発行年(西暦); 引用ページ初-終.

例: 雑誌

森岡一朗, 中村 肇, 香田 翼他. 我が国の超早産児に対する黄疸管理と治療の現状. 日新生児成育医学会誌 2015; 27: 299-304.

Konishi M, Fujiwara T, Naito T, et al. Surfactant replacement therapy in neonatal respiratory distress syndrome-A multicentre, randomized clinical trial: Comparison of high-versus low-dose of surfactant TA. Eur J Pediatr 1988; 147: 20-25.

例: 著書

楠田 聡. 新生児医療と内分泌疾患. 新生児内分泌研究会編, 新生児内分泌ハンドブック. 第1版, メディカ出版, 大阪, 2008; 12-17.

Miyasaka K. Mechanical Ventilation. In: Holbrook PR, ed. Textbook of Pediatric Critical Care. WB Saunders, Philadelphia, 1993; 442-464.

(12) 「投稿論文チェックリスト」をホームページからダウンロードし、各項目を確認してチェックマークを入れたファイルを、原稿とともにe-mailに添付してお送りください。なお、規定に沿わない原稿は受付できないことがあります。

(13) 筆頭著者が卒後5年以内の研修医・専攻医で非会員として投稿する場合は、非会員投稿申請書をホームページからダウンロードし、必要事項を入力の上、原稿とともにe-mailに添付してお送りください。

8. 掲載料: 組上がり4ページまでは学会が負担します。4ページを超える分については1ページ当たり10,000円を申し受けます。ただし、学会誌編集委員会より依頼した原稿についてはこの限りではありません。別刷は実費で印刷しますので、校正の時に希望部数を記載してください。誌面への掲載後、希望者にはPDFデータをお渡しいたします。PDFデータは個人使用に限ります。

9. 原稿送信先:

e-mail: [toukou@jsnhd.or.jp](mailto:toukou@jsnhd.or.jp)

公益社団法人日本新生児成育医学会  
学会誌編集委員会 宛

\* 誓約書には必ず筆頭著者の生年月日、医学部卒業年次および全員の会員番号をご

記入ください。

#### 10. 利益相反に関する自己申告書の提出

日本新生児成育医学会が定めた利益相反指針および指針細則に則り

(<http://jsnhd.or.jp/society/riekisohan.html>)，筆頭著者と共著者それぞれが「発表者の利益相反自己申告書」に記入・署名しスキャンしてPDFファイルとしたうえ、投稿時にe-mailに添付して提出してください。発表には、学術集会講演録，原著論文，綜説，委員会報告，教育セミナーワークショップ報告書などが含まれます。原則として利益相反状態の有無は論文の採択には影響しません。論文が採択された場合，利益相反状態の有無にかかわらず，申告書の内容は学会誌に明記されます。

##### 【利益相反状態にある場合の記載例】

- ・著者名：開示事項，企業・団体名。他の著者に関しては日本新生児成育医学会の定める利益相反に関する開示事項はありません。

##### 【利益相反状態にない場合の記載例】

- ・日本新生児成育医学会の定める利益相反に関する開示事項はありません。

平成28年5月14日改訂

平成29年10月14日改訂

平成30年1月19日改訂

2019年5月10日改訂

2020年4月10日改訂

2020年7月20日改訂